

新宮山彦ぐるーぷ第1955回

平治宿・持経宿への池郷林道復旧と点検巡視

◇実施日；2017年11月20日(月)・24日(金) 晴
◇参加者；村吉光夫。 1名。

秋の長雨・台風にかけて、平治宿小屋の非常食交換が、まだ出ていませんでした。池郷林道ゲートから不通と聞いていましたが、林道歩きを承知で20日に出かけました。

行ける所まで車で行く事にして、車の底を擦りながらも進むと1kmぐらいで杉倒木、水平に道を塞いでいたので楽に鋸で切断。時折り石を除けながら進むとチョイと大きな岩。ハンマーを出して「サーっ！一仕事だ」と勢い込んだのですが、この岩が割れにくい。この林道でよく見かけるひび割れが入りやすい岩ではありませんでした。仕方なく一番下の角だけ削って車を通してみたら、谷側に擁壁がありOKでした。通行可能幅は180cmです。



1km進んだ所の倒木 擁壁と岩の間180cm 根が崖上で逆立ちの倒木

もしかしたらこのまま車で持経まで行けるんじゃないかと甘い期待をした頃に現れた逆立ち倒木です。根が崖の上に残ったまま逆立ちしています。試しに車が通れそうな高さで枝を切ろうとし

てみましたが、手を上に伸ばして鋸を使うのは無理。ゲートから約2km。ここから歩きで平治宿に向かい非常食を交換しました。この日は、林道復活は断念。

林道を復活させたいが休みの余裕が無い、そこで・・・久しぶりに若い振りした行動を・・・。23日の仕事終わりは、深夜3時。4時に天理を出発、6時に池原着。車で仮眠し9時に起きて活動開始。池郷林道へGO。

今回は小さい脚立を使って車が通れる高さを想定して枝を切る。枝がお互いに絡み合っているの、思った以上に細かく切ることになり切る回数が多い。

木の重心はまだ上に残っているので、力が架かっていること確かめながら、枝を切り続ける作業が2時間かかった。

この車の車高は約160cmです。路面から約190cmの高さに切っています。



脚立で路面から190cmに切除・通過可能

この地点後は、手で除けるかハンマーの一撃で済む程度の石を片付けながら、大きな問題が無く13時に持経宿小屋に到着。この間に車の底が擦りそうな所が、三ヶ所ほど残っている。

小屋の前は落葉が吹き溜まり状態で、20cmぐらいの厚みで一面に積もっている。

軽い落葉ですが、これだけ有ると除くのに結構時間がかかる。林道三叉路分岐の道標の文字が、読みにくくなっていたので新調。標柱が古いままなので少々アンバランスですが、ご勘弁を！



文字が読みにくい旧道標



新調の道標

三叉路分岐から白谷林道へ約700m下った所に倒木が在る。切れそうでしたが、それよりも時間切れで作業せず。



白谷林道へ約700m下った地点の倒木

17時に池原に降りて帰宅した。

(記：村吉)